

R1.5.30 令和元年度函館市医療・介護連携多職種研修会(医療関係者向け) アンケート集計結果 分析

n = 58 (回収率 77.3%)

1. 所属機関をお聞かせください。

・病院	46	(79.3%)
・診療所	1	(1.7%)
・歯科診療所	0	(0.0%)
・薬局	5	(8.6%)
・訪問看護事業所	1	(1.7%)
・在宅歯科医療連携室	0	(0.0%)
・その他	5	(8.6%)
(訪問医療マッサージ 1名, 治療院・無記載 各2名)		

2. 現在、従事されている職種をお聞かせください。

・医師	1	(1.7%)
・歯科医師	0	(0.0%)
・薬剤師	5	(8.6%)
・保健師	0	(0.0%)
・看護師	17	(29.3%)
・リハビリスタッフ	16	(27.6%)
・歯科衛生士	0	(0.0%)
・管理栄養士・栄養士	0	(0.0%)
・相談員	5	(8.6%)
・事務員	11	(19.0%)
・柔道整復師	1	(1.7%)
・鍼灸師・マッサージ師	4	(6.9%)

3. 研修会を受講し、ご自身の理解は深まりましたか？

・深まった	52	(89.7%)
・どちらともいえない	6	(10.3%)
・あまり深まらなかった	0	(0.0%)

【ご意見等】

- ・回復期病棟で勤務しているので、患者様の退院後について深く考えることができました。
- ・情報提供してほしい内容がわかってよかった。今後、情報提供書作成時に参考にさせていただきます。
- ・分かりやすかったです。
- ・介護サービスについて再確認できた。
- ・ケアマネジャーとの情報連携に活用していきたいと思います。
- ・用語の説明がわかりやすく、勉強になりました。
- ・介護保険制度、受けられるサービス等、知らなかったことを学ぶことができました。ありがとうございました。

4. 今回のような介護関係者向けの研修会を続けてほしいですか？

・続けてほしい	55	(94.8%)
・どちらともいえない	2	(3.4%)
・続けなくてもよい	0	(0.0%)
・無回答	1	(1.7%)

【ご意見等】

- ・わかりやすかったです。
- ・介護医療院について、小規模等について知識を深めたい。
- ・介護保険の保険料の納付要件などについて詳しく知りたいです。
- ・多職種間のそれぞれの役割について詳しく知りたい。

5. 今後、どのような内容の研修会を希望されますか？

【具体的な内容等】

- ・介護報酬における算定項目の概要(どの様な介護行為による項目、単位等)、今後の介護報酬の展望など。
- ・介護度に合わせて点数ごとにどのくらいを何回どんなふう(レンタルの点数も含め)利用できるか。
- ・点数の区分について。(リハビリ、福祉用具)
- ・事例紹介で介護サービスについての知識をより深めたい。
- ・実際家屋調査をし、家の調整を図ってから在宅に戻ってケアマネさんが感じていること。レンタルで利用できるもの、実際の使用状況等を知りたい。
- ・トラブルなどの具体例や解決方法等など教えてほしいです。
- ・患者もしくは家族も含めたより良い在宅介護の在り方のグループワーク、検討、意見交換。
- ・基礎的な説明ではなく、事例や具体的な内容としてほしい。
- ・連携についての研修と聞いていたが、介護サービスの内容、種類ばかりで、テーマに沿った研修をお願いします。
- ・在宅における多職種それぞれの今後の要望、現状について。
- ・各職種を中心とした講演。
- ・在宅での多職種の関わりの仕方について。
- ・在宅。(病院・ケアマネ・薬局での連携について)
- ・地域包括支援センターと医療の連携について。

6. その他、ご意見

- ・介護分野の知識は医療者もしっかり持つべきとわかりました。
- ・今まであやふやだったサービス内容など詳しく知れてよかったです。ありがとうございました。
- ・またよろしくお願いします。
- ・ピンピンコロリ熱望。
- ・サービスが複雑化していてわかりにくかったのですが、今日お話を聞くことができ、理解が深まりました。ありがとうございました。
- ・「はこだて入退院支援連携ガイド」の「在宅・施設」の主な職種に「薬剤師」を入れてください。
- ・開催時間が17:30は厳しいので、聴講者側の参加時間の配慮を。
- ・ケアマネジャーさんのやっていること、また、介護サービスの内容がよくわかりました。ありがとうございました。

ご協力ありがとうございました。